



黒人系雑誌で報じられた公民権運動

キング牧師の足跡

アメリカの黒人関係略年表

(展示記事あり: C=The Crisis / E=Ebony)

- 1861 南北戦争勃発
- 1863 奴隷解放宣言
- 1903 W.E.B.デュボイスSouls of Black Folk発表
- 1909 NAACP結成
- 1910 The Crisis創刊**
- 1914 第1次世界大戦勃発
- 1919～ ハーレム・ルネサンス
- 1941 第2次世界大戦勃発
- 1945 Ebony 創刊**
- 1954 ブラウン対トピカ教育委員会訴訟判決
- 1955～ バスボイコット闘争
- 1963 ワシントン大行進** (C/E)
- 1964 公民権法成立** (C)
- キング牧師にノーベル平和賞
- 1965 セルマ-モンゴメリ行進** (E)
- 投票権法(1965年公民権法)成立
- マルコムX暗殺
- ワッツ暴動
- 1966 ブラックパンサー党結成**
- 1968 キング牧師暗殺** (C)
- 1973 ロサンゼルスとアトランタに初の黒人市長
- 1989 ニューヨークに初の黒人市長
- ロス暴動
- 1995 O.J.シンプソン事件
- 2003 イラク戦争
- 2009 バラク・オバマ合衆国大統領に就任**

アメリカ合衆国では、長く続く人種差別に対抗するため、伝統的に、黒人の手による黒人のための雑誌が刊行されてきました。今回の展示では、当館で所蔵する黒人系雑誌の中から、The Crisis と Ebony の二誌を採り上げました。代表的な黒人系雑誌が公民権運動のヒーロー・キング牧師について報道した記事を並べることで、20世紀後半の公民権運動を振り返っています。

The Crisis

1910年、NAACP(National Association for the Advancement of Colored People =全米有色人種向上協会)の機関紙として創刊された、もっとも古い歴史を持つ黒人系雑誌です。編集者W. E. B. デュボイスは創刊号の中で発行の目的を「特に有色人種に対しての、人種的偏見を示す危険性をはらむ現実や論点を明らかにすること」と述べています。内容は社会評論や文学評論が中心ですが、当時無名だった若手黒人作家らに作品発表の場を与えることで、ハーレム・ルネサンスの原動力にもなりました。

1968年4月、キング牧師暗殺直後の号で、The Crisis は表紙に彼の肖像を配し、巻頭に追悼記事を掲載します。この記事中にはキング牧師の美点「謙虚さ、献身、信仰、勇気など」が列挙されていますが、”He was a man of ~.”と同じリズムで繰り返すそのスタイルもまた、彼の演説を思い出させるものでした。記事の筆者は「全人類がキング牧師の死を嘆いた」として彼の死を悼みました。

Ebony

黒人系雑誌の中でも最大の発行部数を誇る Ebony は1945年に創刊されました。雑誌名のEbony (=黒檀)は“Beautiful and strong black wood”すなわち「美しく強い黒人」^{メタファ}の暗喩です。Ebony が目指したのは、黒人コミュニティの明るい面に光をあてることでした。このため、Ebony はアメリカの代表的な写真雑誌Lifeのようなスタイルを選び、美しいカラーの誌面を華やかなスターたち、“ドリームガールズ”のモデルになったシューブリームス、ボクシング世界王者モハメド・アリ、アカデミー賞を受賞した俳優シドニー・ポワティエらの姿で飾りました。しかし、これらエンタテインメント系のスターの中に混じって、多くの号の表紙を飾ったのはキング牧師でした。もちろん、公民権運動のリーダーとして活躍する彼を記事にしない黒人系雑誌はなかったと思われませんが、Ebony のカラーグラビアの中の彼は、カリスマ性が強調されて、より「ヒーロー」的なものを意味付けられているように感じられます。

参考資料 ()内は請求記号
 Encyclopedia of African-American culture and history : the Black experience in the Americas Thomson Gale, c2006 (黒人 316=10=1~6)
 W. E. B. DuBois : the crisis writings Fawcett, 1972 (黒人 316=360)
 大谷康夫『アメリカの黒人と公民権法の歴史』明石書店, 2002 (N316.853=110)
 W.E.B.デュボイス『黒人のたましい』未来社, 2006 (N316.853=217)
 『アフリカ系アメリカ人ハンディ事典』南雲堂フェニックス, 2006 (N316.853-R=221)
 『ブルース&ソウル・レコーズ』No.85 ブルース・インター・アクションズ, 2009

展示資料について

March on Washington

ワシントン大行進

The Crisis vol.70, no.8 (October, 1963)

“March on Washington for Jobs and Freedom”を掲げたワシントン大行進は、キング牧師のほかに労働問題の運動家フィリップ・ランドルフ、NAACPのロイ・ウィルキンスらによって呼びかけられた。

(Copy)

Cover: General view of March on Washington crowded taken from the top of the Lincoln Memorial

表紙: リンカン・メモリアルから撮影したワシントン行進の群集の様子

The Crisis vol.70, no.8 (October, 1963)

リフレクティング・プールに映るワシントン記念塔と、モールを埋め尽くした20万を超える参加者。

Biggest Protest March

最大規模の抗議デモ行進

Ebony vol.19, no.1 (November, 1963)

ワシントン大行進はこの年8月28日に行われた。キング牧師が演説の中で繰り返す「私には夢がある」のフレーズに熱狂的に反応する聴衆の様子が写されている。

Cover: Civil Rights Act of 1964: Facsimile of Bill as received in Senate from House

表紙: 1964年公民権法 下院から上院へおくられた法案の写し

The Crisis vol.71, no.7 (August-September, 1964)

この年可決された公民権法案の条文がこの号の表紙を飾る。1964年公民権法では、公共施設などにおける人種差別の禁止や公教育の人種統合が明記された。

50,000 March on Montgomery

モンゴメリで5万人行進

Ebony vol.20, no.7 (May, 1965)

当時のアラバマ州知事ジョージ・ウォレスは州警察を動員してこのデモを止めようとしたが、その様子がテレビなどで全国に報道されることにより、かえって運動が活発化することになった。このあと投票権法が成立する。

Nonviolence: the only road to freedom

非暴力 自由へのただひとつの道

Ebony vol.21, no.12 (October, 1966)

この寄稿の前年マルコムXが暗殺され、またワッツ暴動が起きている。この年には武装蜂起を掲げるブラックパンサー党が活動を開始。公民権運動の高まりと、それに反して差別解消が進まない現状に苛立つ同胞に、キング牧師は非暴力を貫くことを呼びかけた。

Cover: Dr. Martin Luther King, Jr. 1929-1968

表紙: マーティン・ルーサー・キング Jr. 牧師 1929-1968

The Crisis vol.5, no.4 (April, 1968)

キング牧師はこの年4月4日、遊説中のテネシー州メンフィスで暗殺された。Crisisはこの号巻頭の論説を“The Martyrdom of Martin Luther King, Jr.”(「マーティン・ルーサー・キング Jr. 牧師の殉難」)として追悼している。

そして2009年現在、黒人系雑誌だけでなく、一般誌でも、初の黒人系大統領就任の特集が組まれている。

To the millions on the Mall and beyond, the country's first African-American President calls for a “new era of responsibility.”

モールに集う群衆に、この国で初めてのアフリカ系大統領は「新しい関与の時代」を呼びかける

Time vol.173, no.4 (February 2, 2009)

2009年1月20日ワシントンDC。就任演説を行う新大統領のはるか後方に、プールと記念塔がみえる。